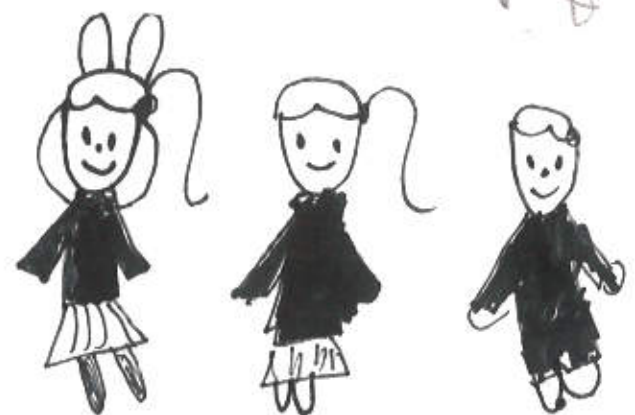
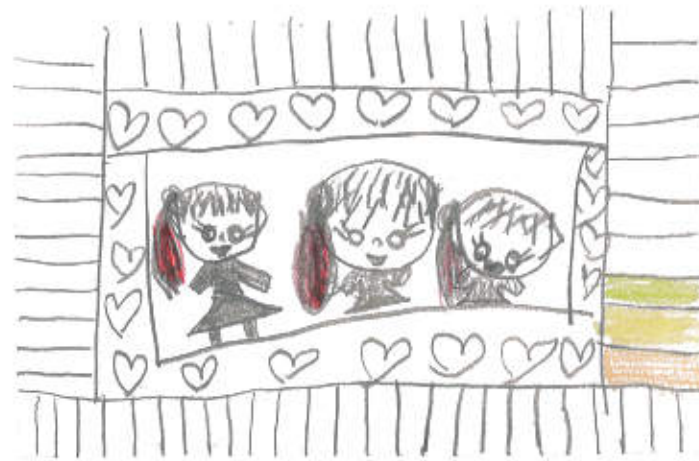


庄内こどもの木土幼稚園 劇あそび会 杜のお手伝い隊 ⑪ 2/20(土)



〈司会・掃除・飾り付けグループ〉

ついに子ども達も待たされた劇あそび会本番が20日になりました。子ども達は、待機場所(組)に集まった時から少し緊張している様子でした。ひまり組も沖村組もリハーサルや練習でグループ全員そろった事がないので、全員で司会をするのは初めてでした。舞台裏でハイスベルの音階を決める際、「下にスライド、やから2人が2つはなあかん」と自分達で役割を決めています。練習の時よく休んでいた子に対し、司会が持つ掲示の紙を見せて「これ〇〇君休みの時に書いたんや」と教えあげたり「やりくり出ているな?走ったらこわいから」と司会の振るま方を伝えようとする姿を見、子ども達の責任感を感じる事が出来ました。お手伝い隊を通じて、劇あそび会をより良い物にしただけでなく、劇あそびに参加する自分達の参加意欲を高めた。自分の役割をしっかりとこなそうとする責任感の育ちに繋がったと思います。 岩山崎



▲組で話合の様子



▲舞台裏で服装を整える様子



▶舞台裏で練習の様子

〈じ・注意・誘導・掲示グループ〉

2月20日(土)劇あそび会の本番。少し緊張し表情を見せたり子どもたち、本番というにもあり、「あー緊張するわあ〜」とお互いに顔を見合わせながら、ドキドキし様子を見せながらも、とてもやる気に満ちた姿が見られました。本番の時間が近づき、誘導を行うために手持ち会場。来場するお客さんに「おはようございます!と元気に挨拶!「席の場所わかりますか?」「こちらです」と大きな声で声を掛けていました。はじめは恥ずかしがる姿も見られましたが、慣れてくると笑顔に。席を案内し、困っている人がいれば探して子どもたち自身、楽しく誘導をしながら、早く練習をして、注意の呼び掛けや席交代の声掛けも声を合わせてゆくりと言うことが出来ました。また、各クラスの大道具運びもみんな協力しながら運ばれ、運ぶ姿も見られ、活き活きとした表情を見せ、達成感に満ち溢れ、子どもたち、お手伝い隊を通して、どうやらみんなが喜んでくれるのか、グループのみんなでも顔に笑顔がはげ、時にはぶつかり合いながら試行錯誤することもありました。自分たちの目に見え、感じること、そして「自信に繋がった」と思っています。子どもたち一人ひとりが輝いていて、劇あそび会、この経験をいつまでも忘れずにいてほしいと思います。 桑村



席の場所わかりました!



みんなが誘導をしました。



おはようございます!



ホールはこらです。



道具も運びました。

〈道具・衣装グループ〉

ついに本番当日!朝早く起きるから眠いわあ〜と言いつつも、輪になって話を始めると、みんな真剣です!!もう、いつ道具を出るか、誰がするか、しっかりと理解していました。始まる前に舞台上で最終チェック。しるしを見ながら、「ここに置くわー!」と確認していきまいた。そしていよいよ劇あそび会スタート!1部、しるしを2部、りす、ちゅうり、3部と道具を出したり、衣装を着けたり、待っているお友だちに「いよいよいよいよあ」としてサテリ。決めたこと以外にも、「これやろか?」と気付けて声掛けの姿もありました。乳児のお友だちと仲良くなるから始まるお手伝い隊の活動、今日は自ら乳児の部屋へ行き進んでお手伝いしようとするように見られました。特に、道具作りや道具出しと、限られた時間の中、みんなが一生懸命取り組んでくれて「より良い劇あそび会」にふたつと思っております! 中川



たははは!絵のペーパーを並べて置いたの!



うさぎは道具を持ちました。



始まる前にみんなが最終確認!



りす 2人で海を持ちました。



乳児のかが落ちていよう見守ります。



1部:マツ出し